

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和3年10月29日

村山 章

「人生100年時代」と言われ、いくつになっても学ぶ姿勢を大切にする生き方が求められています。趣味の教室はたくさんあります。生け花に書道、音楽に限ってもピアノ、ギター、合唱団、カラオケなど思いっくだけでも多彩です。そこでは自分の子供のような年下の人を先生と言わなければいけないときもあります。もちろん教えていただく訳ですから敬語で話すのが当たり前です。“自由の国”アメリカの人間関係とは違います。

年をとると確かに怒りっぽくなりますね。身体も無理がきかなくなります。ただ長年の体験・経験の積み重ねがありますので、原因から結果を予測することが可能になります。ゼロ歳児を育てているときに、その姿を見て、このままだと怪我をする可能性がある、叱った方がよいと判断する思考過程と同じです。また、多少は自信も付き、若い頃よりも不安や恐怖心が少なくなります。でも、一番怖いのは自覚のない慢心ですから、たまには年下の人を先生と呼ぶのも、心の浄化には効果があるのではないのでしょうか。物を買って相手に儲けさせ、ローンで買って金利で売手に儲けさせたいうえで、自分のデータを与えてさらに儲けさせていると、昔読んだ何かの本に書いてありました。データは情報と言ってもよいと思いますが、今はこのデータが重視される時代のようなようです。モノづくりもデータ、バイオ技術にもデータが寄与します。衛星からのデータは防災や建築・土木、気象観測からエネルギーに至るまで広範囲に利用されています。おなじみとなった人工知能（AI）や、原子や分子を扱う量子力学を用いて高速処理を行う量子コンピュータが膨大なデータ処理をする時代になっているようです。スマホすら使いこなせない私にとって、たとえそう聞いたとしても訳の分からない世界で、今後は社会がどう劇的に変化していくのか想像が付きません。色んなことに好奇心をもち、学ぶ姿勢を大切に誠心誠意努力していただくだけです。